

# 第 4 学 年 図 画 工 作 科 学 習 指 導 案

4 年 2 組 指 導 者 今 津 圭 佑

## 題 材 形や色、どこにどうかく？

### 1 本題材で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

形や色などの造形的な特徴に着目すること

### 2 本題材について

本学級の子どもたちは、形や色などの感じに着目し、自分が感じたことや想像したこと、見たことなどを絵に表してきた。このような子どもたちが、形や色などの造形的な特徴に着目し、物語から想像した自分のイメージを絵に表していく。このことは、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わることにつながると考える。

本題材では、自分のイメージに合う表し方について考える際に、形や色などの配置、奥行きといった構成に関わる造形的な特徴に着目することを大切にする。なぜなら、自分のイメージをより具体的に表現したり、構成のよさや美しさを感じてより豊かに鑑賞したりすることができると考えるからである。しかし、現行の学習指導要領では、形や色などの造形的な特徴を理解することは高学年の学習内容とされている。そのため、タブレットを活用して自分のイメージに合う構成について考える活動を仕組み、中学年の子どもたちでも形や色などの配置、奥行きに着目することができるようにする。そうすることで、図画工作科の学習場面や、生活や社会の中のような場面において、形や色などの造形的な特徴に着目し、自分の世界を広げることにつなげたい。

そこで、以下のような支援を具体化し、本題材でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 鑑賞の場面では、形や色の配置、奥行きを工夫した作品とそうでない作品を並べて提示する。そうすることで、形や色などの配置、奥行きに自然と着目し、構成のよさや美しさを感じることができるようにする。【創】
- タブレットを活用して構成について試す際は、行為の理由について問う。そうすることで、形や色などの配置、奥行きに着目し、構成することのよさを感じることができるようにする。【受】
- 自ら選んだ物語から想像した自分のイメージを絵に表す活動を設定する。そうすることで、形や色などの配置、奥行きに着目し、構成について考えながら絵に表すことができるようにする。【転】

### 3 本題材の目標

- 物語から想像した自分のイメージを、形や色などの配置、奥行きに着目し、構成について考えながら絵に表すことができるようにする。
- 形や色などの配置、奥行きに着目し、形や色などと豊かに関わっていく態度を養う。

### 4 本題材における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○形や色などの配置、奥行きについて理解し、表したいことを工夫して絵に表している。	○形や色などの配置、奥行きに着目し、自分のイメージに合う構成について考えている。	○形や色などの配置、奥行きに着目し、形や色などと豊かに関わろうとしている。

### 5 指導計画（全 8 時間）

第 1 次 作品を鑑賞する（1 時間）

第 2 次 同じ物語を基に構成について考える（3 時間）【本時 3 / 3】

第 3 次 自ら選んだ物語から想像した自分のイメージを絵に表す（4 時間）

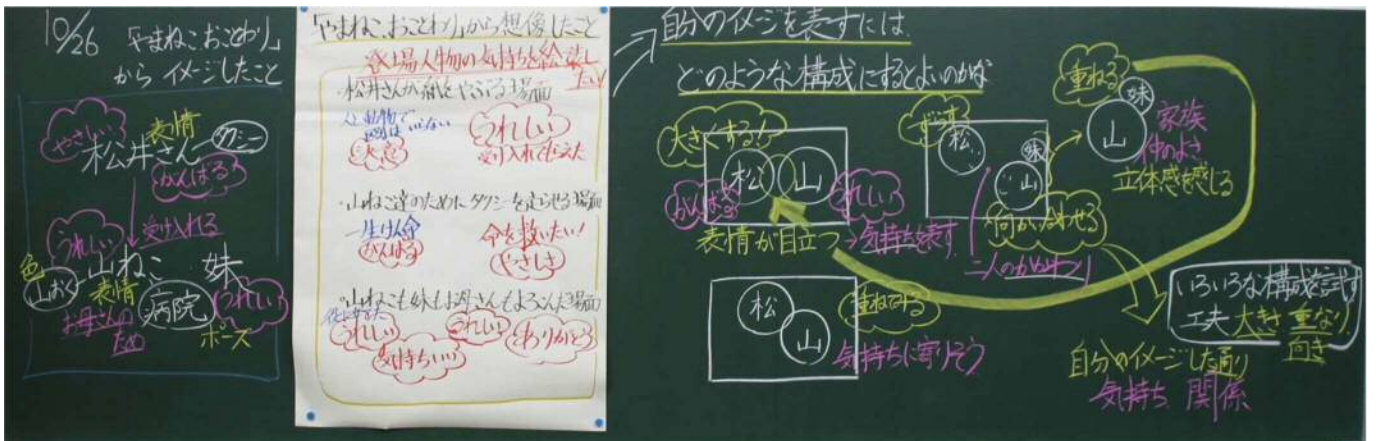
6 本時案 【令和3年10月26日 9:20~10:05 図工室】

(1) ねらい 構成について試したり交流したりすることとおして、形や色などの配置、奥行きに着目し、構成について考えることのできるようになる。

(2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
1 活動の見通しをもつ。(10分) ・活動の見通し ・自分のイメージ	・「山ねこ、おことわり」を読んで、松井さんや山猫、山猫の妹などを描いたね。 ・この絵をタブレットに取り込んで、動かしながら構成を考えていくよ。 A 僕は山猫のために頑張る松井さんの様子や山猫のうれしい気持ちを表したいな。	○タブレットを活用して構成について考える場を設定する。そうすることで、形や色などの配置、奥行きに着目し、構成について考えることができるようにする。 【受】
自分のイメージを表すには、どのような構成にするとよいのかな。		
2 構成について試したり交流したりする。(25分) ・配置や大きさ、向き ・奥行きや重なり方の感じ ・自分のイメージに合う構成	・まずは、松井さんと山猫の表情が目立つように、大きくしてみたらどうかな。 A <u>表情で気持ちを表せるからね。真横に並べるよりも少し上下にずらしたり、顔の向きを斜めにしたりするとイメージに合うよ。</u> ・二人のかかわりを表すことができるね。 ・山猫の妹も描くとよさそうだね。小さめにして、山猫の近くに描くとどうかな。 ・少しずつ動かすと山猫と妹が重なったよ。 B 妹が後ろに隠れて仲のよい家族らしさが表せるし、立体感も感じられるね。 ・絵を少し重ねることで、前後の感じや登場人物の関係を表すことができるのだね。 ・ <u>だったら、松井さんと山猫を少し重ねると、松井さんが山猫の気持ちに寄り添っていく様子を表すことができそうだね。</u> A やった、イメージに合う構成になったよ。	○机間指導の際に、行為の理由について問う。そうすることで、形や色などの配置、奥行きに着目し、構成について考えていたことに気付くことができるようにする。 【受】  ○本時の学習を振り返る際は、自分のイメージを絵に表すことができた理由を問う。そうすることで、形や色などの配置、奥行きに着目し、構成について考えることのできるようになる。 【受】
物語から想像した自分のイメージを表すことができたかな。		
3 本時の学習を振り返る。(10分) ・形や色などの配置、奥行きに着目することのよさ	B できたよ。大きさや重なり方を少しずつ変えていろいろな構成を試すと、自分のイメージに合うように表すことができたよ。 ・ <u>配置や奥行きについて考えることで登場人物の気持ちや関係を表すことができたね。</u>	○本時の学習を振り返る際は、自分のイメージを絵に表すことができた理由を問う。そうすることで、形や色などの配置、奥行きに着目し、構成について考えることのできるようになる。 【受】

(3) 板書計画



## 第 4 学 年 図 画 工 作 科 学 習 指 導 計 画

4 年 2 組 指 導 者 今 津 圭 佑

**2 4 M ( 8 時 間 )** **が 本 時**

学 習 活 動	子 ど も の 意 識
<b>第 1 次 作品を鑑賞する</b> <b>学習内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色などの造形的な特徴について理解すること（知）</li> <li>・形や色などの造形的な特徴に着目し、構成について考えること（思）</li> <li>・進んで鑑賞に取り組むこと（態）</li> </ul>	<b>3 M ( 1 時 間 )</b>
<input type="checkbox"/> 作品を鑑賞する <span style="float: right;">( 3 M )</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵が 3 枚あるよ。①の絵は、黄色や水色など明るい色が多くて優しい感じがするね。②の絵は、色がはっきりしているよ。③の絵は、時計が曲がっていて不思議な感じがするよ。どれも、形や色を工夫して表しているね。他にも絵があるのだね。どちらも「ごんぎつね」の絵だけれど、僕は 2 枚目の方が好きだな。ごんと兵十が大きく描かれていて、斜めに並べられているから、ごんと兵十の関係や、ごんに対する兵十の気持ちがよく分かるよ。そう考えると、最初の 3 枚の絵にも工夫が見つかるよ。シャボン玉の形や色の重なり方がきれいだね。登場人物の並べ方からは、描いた人の思いや気持ちが伝わってくるよ。このような、大きさや並べ方、重なりなどのことを、構成というのだね。これから絵に表すときには、構成も意識していきたいな。</li> </ul>
<b>第 2 次 同じ物語を基に構成について考える</b> <b>学習内容</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色などの造形的な特徴について理解すること（知）</li> <li>・形や色などの造形的な特徴に着目し、構成について考えること（思）</li> <li>・進んで表現に取り組むこと（態）</li> </ul>	<b>9 M ( 3 時 間 )</b>
<input type="checkbox"/> 物語から想像したものを描く <span style="float: right;">( 6 M )</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の時間に学習した「山ねこ、おことわり」を読んで、想像したことを絵に表していくよ。いちばん心に残っているのは、最後に松井さんが「山ねこ、おことわり」という貼紙を破って、山猫のことを認めた場面だよ。山猫のために一生懸命にタクシーを走らせる松井さんの頑張る姿や、松井さんに認められた山猫のうれしい気持ちを絵に表したいな。まずは、タクシーを運転している松井さんを描いてみよう。大体描けたけれど、表情はどうしよう。頑張っている姿を表したいから、口の形を引き締めたり、眉毛の形を直線にしたりしてみよう。あれ、怒った表情に見えてしまうけれど、もっと一生懸命な様子を表したいな。そうか、Bさんの言うように、眉毛の形を上がり目にしたり、汗を描き足したりするのもよいね。よし、描けたよ。松井さんの一生懸命な姿を表すことができたね。次は、山猫を描くよ。うれしい気持ちを表情で表すには、口を大きく開けて、満面の笑顔にするとよいね。でもこの場面では、うれしさはうれしさでも照れたうれしさという感じがするな。口や目の形を少し変えたり、頬の色をピンクにしたりしてみよう。少し照れたうれしさを表すことができたよ。これらをタブレットに取り込んで、動かしながら構成を考えるよ。早くやりたいな。</li> </ul>
<input type="checkbox"/> 構成について考える <span style="float: right;">( 3 M )</span>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回描いた絵をタブレットに取り込んで、構成を考えるよ。山猫のために頑張る松井さんの様子や、山猫のうれしい気持ちを絵に表したいな。どのような構成にするとよいか。松井さんと山猫の表情が目立つように、大きくしてみよう。並べ方や顔の向きでも、二人のかかわ</li> </ul>

りを表せるね。山猫の妹は、小さめにして山猫の近くに描こう。少しずつ動かすと、山猫と妹が重なったよ。妹が後ろに隠れて仲のよい家族らしさが表せるし、立体感も感じるよ。絵を少し重ねることで、前後の感じや登場人物の関係を表すことができるのだね。だったら、松井さんと山猫を少し重ねると、松井さんが山猫の気持ちに寄り添っていく様子を表すことができそうだね。大きさや重なり方を少しずつ変えていろいろな構成を試すと、自分のイメージに合うように表すことができたよ。

第3次 自ら選んだ物語から想像した自分のイメージを絵に表す

12M (4時間)

学習内容

- ・形や色などの造形的な特徴について理解すること (知)
- ・形や色などの造形的な特徴に着目し、構成について考えること (思)
- ・形や色などの造形的な特徴に着目し、形や色などと豊かに関わろうとすること (態)

□ 自ら選んだ物語から想像したことを絵に表す① (6M)

・僕が選んだ物語から想像したイメージを絵に表すよ。前の時間に学習したように、形や色だけでなく構成についても考えることで、イメージに合う絵に表すことができるとよいな。好きな場面はたくさんあるけれど、その中でも、主人公の行動によって登場人物がみんな喜んだ最後の場面がいちばん好きだよ。みんなの笑顔を見て、主人公は心の底からうれしかっただろうから、そんな気持ちを表したいな。まずは、何を描くかを決めるよ。主人公はもちろん、最後の場面に登場した人をみんな描きたいな。そうだ、物語では最後の場面に登場しないけれど、お話の途中に出てきた人も描くことにしよう。その方が、主人公のうれしい気持ちを表せそうだよ。次は、どこにどのように描くか、構成について考えよう。今回もタブレットを使ってよいみたいだけれど、前の時間に学習したことを生かせば、タブレットを使わなくても構成を考えることができそうだよ。主人公やみんなはどこに描こうかな。主人公の周りを、みんなが囲むようにしてはどうか。位置だけでなく、みんなの顔の向きが主人公に向くようにすると、みんなの喜びが主人公に伝わる感じを表せそうだね。そうだ、松井さんと山猫のときのように、少し重ねてみるとよいのではないかな。大きさ、向きなどを考えながら構成を考えることができたよ。

□ 自ら選んだ物語から想像したことを絵に表す② (6M)

・今日は、前回考えた構成をもとに色を塗っていくよ。自分のイメージに合うように、主人公やみんなの形や色を工夫するとよいね。主役が目立つようにするには、鮮やかな色で表してみよう。周りの色を抑えめにすることもよさそうだね。あれ、重なっているところは、色を塗りにくい。重なっていることが分かるように、少し色を変えて塗ってみよう。他には、場面ごとに色を変えるとよさそうだよ。明るい場面は、白っぽい黄色やオレンジを使って明るい感じを表そう。構成も大切だけれど、実際に色を塗ってみると、色の選び方によっても絵の見え方が変わってくるね。他のみんなは、どのように色を塗ったのかな。僕と同じように、主人公を鮮やかな色で塗ると、思わず目が向くね。2つの色を混ぜてだんだん色を変えていくようにしている人もいるよ。よし、みんなの工夫も取り入れることで、自分のイメージに合うように絵に表すことができたよ。構成についてしっかりと考えていたから、色を考えることも楽しかったよ。次の図工の時間にも、構成について考えながら自分のイメージを表していきたいな。

